

第8回全国動画クリエイト甲子園にて「銅賞」を受賞しました！

本校の3年生で「コンテンツの制作と発信」の授業選択者で制作した動画「わらしべ長者 in 福崎町」が、映像制作の全国大会「第8回全国動画クリエイト甲子園」の地域コラボ部門において、見事、銅賞（全国3位）に輝きました！

今回の大会は、全国から847チーム（うち地域コラボ部門は270チーム）がエントリーする激戦となりました。1次審査を通過した58チームの中から、最終審査会（ファイナル）に選出されたのはわずか3チームのみ。本校チームはその狭き門を突破し、ファイナリストとして記念すべきステージに立ちました。

【東京・品川での最終審査会】

去る3月8日（日）、東京・品川の「コクヨ東京オフィス THE CAMPUS HALL」にて最終審査会が開催されました。本校からは3名の生徒が参加。大舞台という緊張感の中、30秒の予告動画の上映に続き、3分間のピッチ（作品に込めた想いのプレゼンテーション）を堂々と披露しました。

1次・2次審査の積み上げと、この最終プレゼンの合計点によって、全国3位という栄えある結果を手に入れました。



【受賞した生徒たちの声】

・「初めは右も左もわからず不安でしたが、仲間と協力することで良い作品ができました。福崎町は『妖怪ベンチ』だけでなく、人の優しさや温かさが溢れる町です。その素晴らしさをこれからも伝えていきたいです。（後輩の皆さんも、仲間を大切に頑張ってください!）」

・「ファイナリストとして舞台に立つには、プレゼン力や度胸も重要だと実感しました。これから挑戦する後輩たちには、地域の方との出会いや発見を大切に、楽しみながら挑戦してほしい。私たちのバトンをつないでください。」

・「優勝には届かず悔しい気持ちもありますが、福崎町の知られざる魅力を発信できた手応えを感じています。僕たちの動画をきっかけに、福崎を訪れる人が増えてくれたら嬉しいです。」

【地域への感謝を込めて】

今回の制作にあたり、撮影にご協力いただいた福崎町の皆様、温かく見守ってくださった皆様に心より感謝申し上げます。

映像を通して地域の魅力を全国に届けられたことは、生徒たちにとって大きな自信となりました。今後も映像制作活動を行い、学校や地域の魅力を発信する創造的な活動を続けてまいります。